



※本資料は「ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド(愛称: ポジティブ・チェンジ)」の概略を記載したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目録見書)をご確認いただく必要があります。

着目点1 注目度が高まるESG投資

ESG投資とは

ESG投資とは、財務情報だけでなく、環境・社会・企業統治(ガバナンス)といった要素も考慮した投資のことをさします。

- E Environment (環境)**
自然環境への配慮、環境汚染への対応など
- S Social (社会)**
女性活躍の推進、適切な労働環境の実現など
- G Governance (企業統治)**
積極的な情報開示、株主権利の確保など

世界のESG投資の残高推移



(出所)GLOBAL SUSTAINABLE INVESTMENT ALLIANCE「Global Sustainable Investment Review」を基に三菱UFJ国際投信作成

着目点3 英国の老舗“ベイリー・ギフォード社”による運用

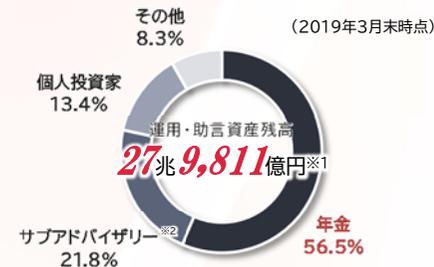
長期投資と成長株投資に強み

1908年に英国エディンバラにて創業した同社は、長期での運用と、独自のリサーチ手法を駆使した成長株投資が強みです。



(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

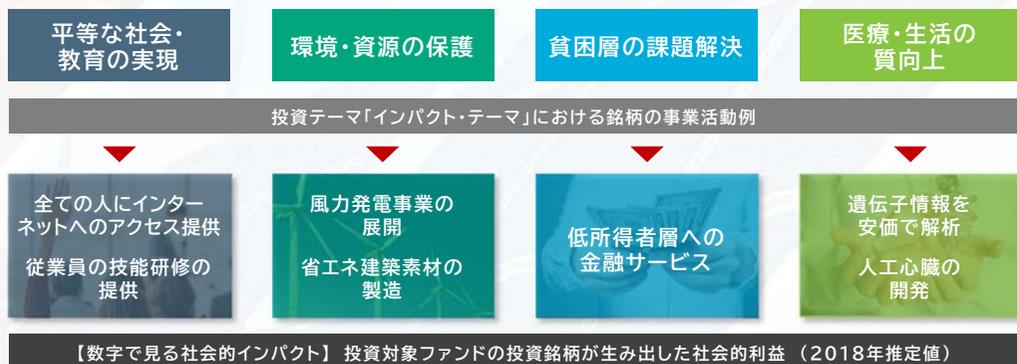
同社の運用・助言資産残高



日本(GPIF**3)や米国など各国の年金の運用を受託

*1 為替は2019年3月末時点の為替レート(1米ドル=110.86円)で換算しています。
*2 外部からの委託運用をさします。
*3 年金積立金管理運用独立行政法人の略。運用受託機関(三菱UFJ信託銀行)の再委託先として運用を受託しています。

着目点2 好ましい社会的インパクト(社会的変化)をもたらす4つのインパクト・テーマ



【数字で見る社会的インパクト】投資対象ファンドの投資銘柄が生み出した社会的利益 (2018年推定値)

21億人 モバイルとデジタルサービスが提供された人々の数
1.5億トン 削減できたCO₂(換算分含む)の合計量
 少なくとも**8,500万人** 金融サービスへのアクセスを提供された人々の数
951,000人 治療等が提供された人々の数

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

運用状況

基準価額の推移



投資対象ファンドの組入上位5銘柄 (2020年4月末時点)

銘柄	国・地域	テーマ	比率
1 テスラ	米国	環境・資源の保護	8.4%
2 デクスコム	米国	医療・生活の質向上	6.7%
3 イルミナ	米国	医療・生活の質向上	5.8%
4 ASMLホールディング	オランダ	平等な社会・教育の実現	5.5%
5 台湾積体電路製造(TSMC)	台湾	平等な社会・教育の実現	5.2%

投資対象ファンドの組入銘柄のポイント (2020年4月末時点)

- テスラ / 環境・資源の保護**
 - 電気自動車(EV)及びエネルギー事業で低炭素社会への移行に貢献。
 - EVの性能とブランド力で競争優位性を維持しながら、生産能力拡大を継続中。
- デクスコム / 医療・生活の質向上**
 - 医療機器メーカー。増加する糖尿病患者向けの血糖値モニタリング・システムの設計、開発に注力。
 - 小児患者向けや長時間の連続使用が可能な製品で、米国外への事業拡大をめざす。

ASMLホールディング / 平等な社会・教育の実現

- 世界トップクラスを誇る半導体製造装置メーカー。マクロ環境が厳しい時期も着実に市場シェアを拡大。
 - 同社の開発するEUV(極端紫外線)露光装置*4により、半導体の小型化・処理迅速化が可能に。長期的な半導体価格の低減に貢献。 *4 極めて波長が短い光源を活用した最先端の半導体露光装置。
- (出所)Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

【着目点1】ESG投資の各項目の内容を全て網羅しているものではありません。【着目点2】投資対象ファンドはベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドをさします。投資対象ファンドの投資銘柄は2019年12月末時点です。【着目点3】GPIFIによるベイリー・ギフォード社のサービスに対する肯定的あるいは否定的な見解を意味するものではありません。【運用状況】基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。初回決算日を迎えていないため、分配金はありません。投資対象ファンドの組入上位5銘柄の比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。なお、2020年4月末時点での投資対象ファンドへの投資比率は98.4%です。国・地域、テーマはベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。当ファンドの概要をご理解いただくために、テーマを勘案して選定した投資対象ファンドにおける組入上位銘柄についてご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。4つのインパクト・テーマは2020年4月末時点であり、将来変更する場合があります。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。表示値未満の数値がある場合、四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。



インパクト投資とは?

企業への投資を通じて、社会的利益(社会的課題の解決)だけでなく、経済的利益も追求する、ESG投資の手法の一つ



社会的利益 経済的利益 2つの両立をめざす

1920年代

倫理的あるいは環境的な側面も考慮し企業を評価するSRI(社会的責任投資)という考え方が誕生。宗教的観点からギャンブルやタバコなどの事業を行う企業を投資対象から外したことが起源と言われる。

2006年

国連により、投資でESG課題の考慮を求める「PRI(責任投資原則)」が発足。

2007年

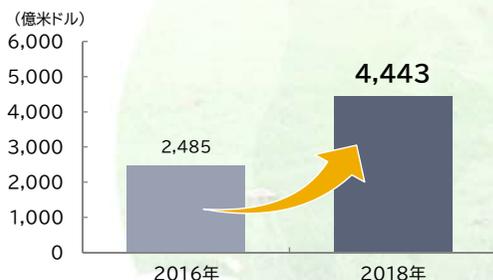
米国ロックフェラー財団が「インパクト投資」というワードを提唱。

2015年

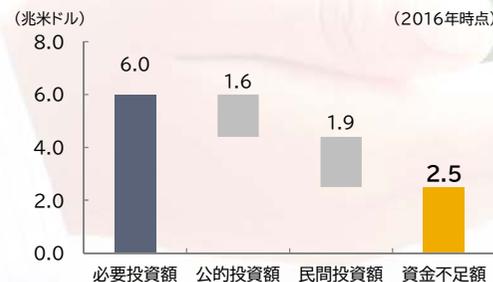
国連サミットでSDGs(持続可能な開発目標)を採択。⇒インパクト投資のいわば“共通目標”が制定。

GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)がPRI(責任投資原則)に署名。⇒国内の機関投資家においても、投資においてESGの観点を重視するように。

世界のインパクト投資の残高推移



世界のSDGs達成における年間資金不足額



世界的にインパクト投資の気運の高まり

しかしSDGsの実現には資金が足りない

より良い社会の実現をめざすため、民間の資金で社会的課題の解決に導く“インパクト投資”に期待

(出所)GLOBAL SUSTAINABLE INVESTMENT ALLIANCE「2018 Global Sustainable Investment Review」、UNEP Finance Initiative「Rethinking Impact to Finance the SDGs」、各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

【本資料に関するご注意事項等】

本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご確認ください。

ファンドの目的

日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

特色1 好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される世界各国の企業の株式等に投資を行います。

- 外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等(DR(預託証券)を含みます。以下同じ。)に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。
● 国や地域、業種、企業規模に捉われず、個別企業に対する独自の調査に基づき、銘柄を厳選して投資を行います。
● 持続可能であらゆる人々を受容する世界の実現に向け、好ましい社会的インパクト(社会的変化)をもたらす「インパクト・テーマ」に沿って、重要な社会的課題の解決に資する事業活動を、公正かつ誠実に実行する企業の中から、投資機会を発掘します。

特色2 外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドが行います。

- ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドは、英国の独立系運用会社であるベイリー・ギフォード&カンパニーのグループ会社であり、英国外のお客様に対して資産運用・助言サービスを提供するための会社です。
● ベイリー・ギフォード&カンパニーは1908年に創業の100年以上にわたる株式運用経験を有する資産運用会社です。

特色3 原則として、為替ヘッジは行いません。

- 原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

特色4 年1回の決算時(6月25日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(初回決算日は、2020年6月25日です。)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因:基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならずにも帰属します。したがって、投資者のみならずも投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスクです。上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。<くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。>

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、上限3.30%(税抜3.00%)(販売会社が定めます)(購入される販売会社により異なります。<くわしくは、販売会社にご確認ください。>)
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	■当該ファンド:日々の純資産総額に対して、年率1.4630%(税抜年率1.3300%)をかけた額 ■投資対象とする投資信託証券:投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.055%以内(マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。) ■実質的な負担:ファンドの純資産総額に対して年率1.5180%程度(税抜年率1.3850%程度) ※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・ 監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・ 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・ 投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等 ・ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・ その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6か月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

(投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行(インターネット専用)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(インターネットトレードのみ)					
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

設定・運用は

三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会